

令和3年度事業計画

社会福祉法人 成仁会

〒861-2403

熊本県阿蘇郡西原村布田897番1

TEL 096-279-4825

FAX 096-279-4824

【目 次】

| | |
|---------------------------|-------|
| I 実 施 事 業..... | - 2 - |
| 1 実施事業運営方針..... | - 2 - |
| 2 事業実施体制..... | - 2 - |
| 3 職員配置(組織図)..... | - 3 - |
| II 部 門 別 事 業 実 施 概 要..... | - 4 - |
| 1 入所介護部門..... | - 4 - |
| 2 短期入所部門..... | - 4 - |
| 3 通所介護部門..... | - 4 - |
| 4 訪問介護部門..... | - 4 - |
| 5 居宅介護支援部門..... | - 5 - |
| 6 栄 養 部 門..... | - 5 - |
| 7 事務管理部門..... | - 5 - |
| 8 グループホーム..... | - 5 - |
| 9 行 事 計 画..... | - 6 - |
| (1) 施設部門年間行事計画..... | - 6 - |
| (2) グループホーム部門年間行事計画..... | - 7 - |
| III 会 議 ・ 委 員 会 一 覧..... | - 8 - |

社会福祉法人 成仁会 経営理念

超高齢化社会を迎えるわが国の現状を深く認識し、社会福祉法人の社会的使命を自覚し、地域社会に根ざした奉仕と信頼・創造と実践を旨とした社会福祉施設を目指し、これを限りなく希求する。

理念具体化の為の指針

1. 社会福祉法人としての社会的使命の自覚と奉仕の精神を堅持して、地域社会への貢献の追及
2. 良質にして十分な量の介護サービスの提供による利用者の満足度の向上を図るための継続的な努力と実践
3. 職員は、常に自らの地位役割を深く認識し、技能を鍛錬し、融和団結して利用者の安心と信頼を得るための自己成長の追求

館是
奉仕・信頼

合言葉
最善を尽くそう

I 実施事業

1 実施事業運営方針

地域社会において支援を必要とされる高齢者の方々に、それぞれの要望を的確に把握し、常に利用者を中心としたサービス提供を行い、満足度の高い介護サービスの提供に努めます。

職員については、健康管理に配慮し、知識向上の機会を与え、やりがいのある職場環境の整備を行い、人材の確保に努めます。

地域との関わりについては、信頼され開かれた施設となるよう、高齢者福祉施策に積極的に参加し、地域のための高齢者福祉施設としての役割を果たしていきます。

また、安定した施設運営を行うため、令和3年度介護報酬改定に必要な取組を実施します。

【介護報酬改定の概要】 改定率+0.70%

1)「感染症や災害への対応力強化」

感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築する。

2)「地域包括ケアシステムの推進」

住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取組を推進する。

3)「自立支援・重度化防止の取組の推進」

制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進する。

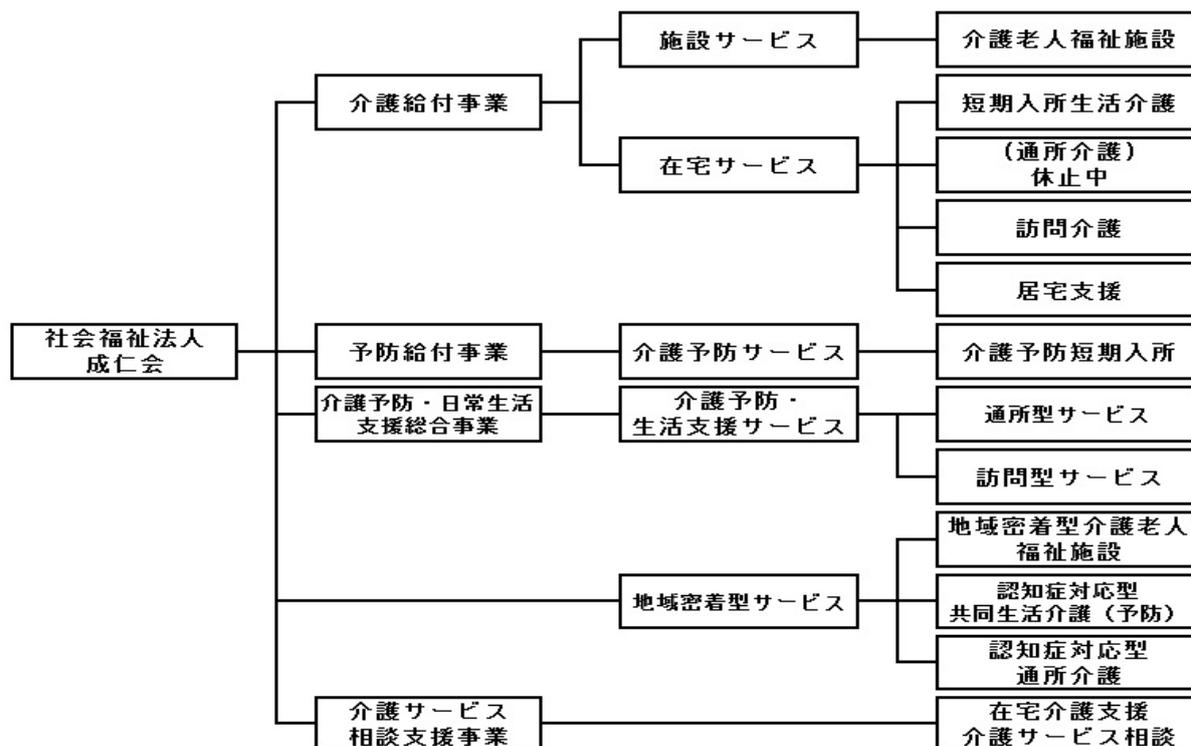
4)「介護人材の確保・介護現場の革新」

喫緊・重要な課題として、介護人材の確保・介護現場の革新に対応する。

5)「制度の安定・持続可能性の確保」

必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る。

2 事業実施体制



※ 当法人の令和2年度における利用者の状況(令和2年4月～令和3年2月)

1) 特別養護老人ホーム(定床40床)

利用者延べ人数 12,580人 1日平均利用者数 37.7人(前年 35.9人) 稼働率 94.2%

2) 地域密着型特別養護老人ホーム(定床20床)

利用者延べ人数 6,121人 1日平均利用者数 18.3人(前年 18.5人) 稼働率 91.7%

3) 短期入所(ショートステイ)(定床20床)

利用者延べ人数 2,801人 1日平均利用者数 8.4人(前年 7.7人) 稼働率 42.0%

4) ヘルパーステーション

利用者延べ人数 1,472人 1日平均利用者数 6.2人(前年 8.6人)

5) 居宅介護支援事業所

利用者延べ人数 633人 1月平均利用者数 57.5人(前年 60.6人)

6) グループホーム(定員9名)

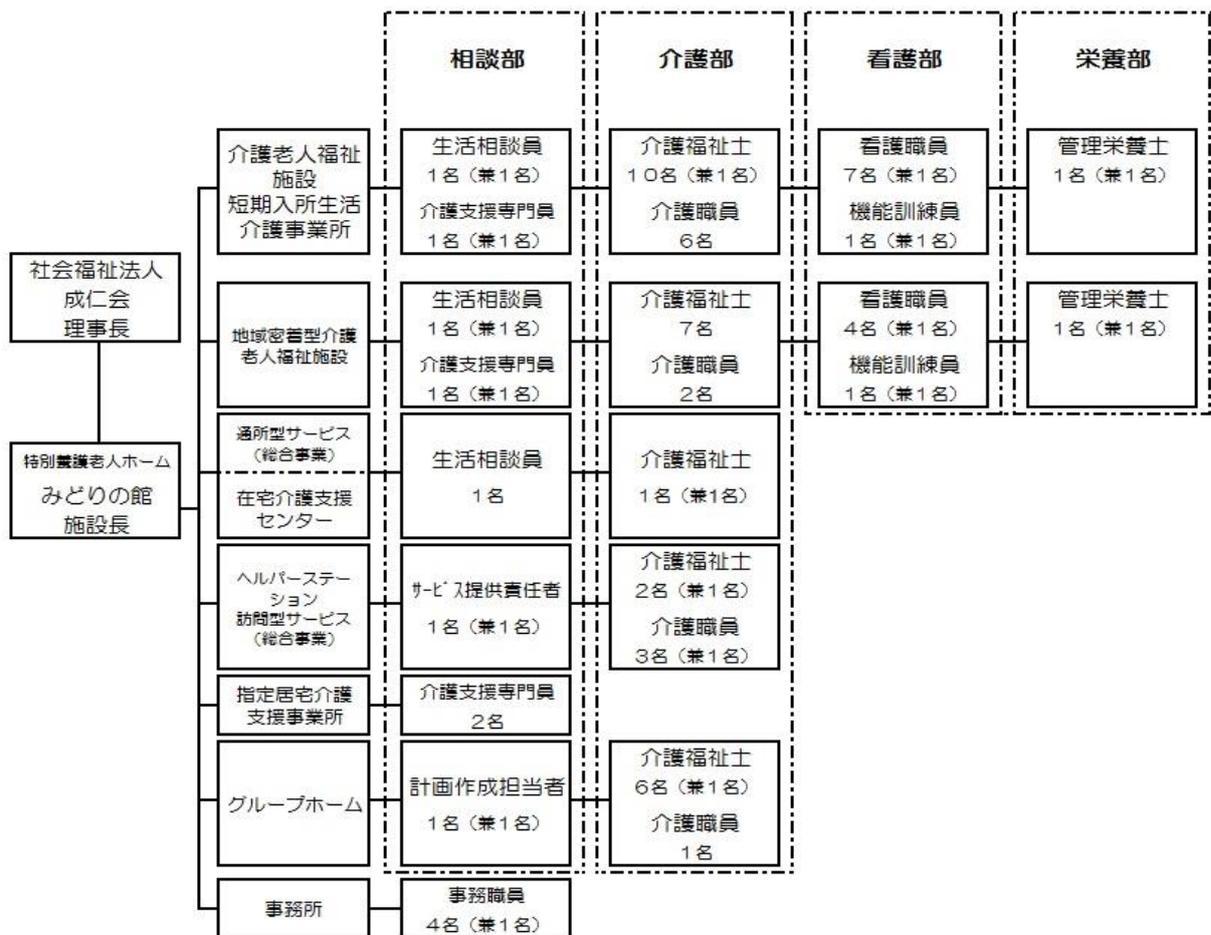
利用者延べ人数 2,942人 1日平均利用者数 8.8人(前年 8.4人) 稼働率 98.7%

7) 法人合計利用者数

利用者延べ人数 26,850人 1日平均利用者数 143.4人(前年 144.7人)

3 職員配置(組織図)

(令和3年度当初職員数57名(登録職員2名含む))



※1 職種ごとの職員数表記について、実際の人員数を記載しております。

※2 実人員数の中には、兼務者も含まれておりますので、職員総数よりも多くなっております。

※3 看護職員数は、看護師と准看護師の合計となっております。

II 部門別事業実施概要

1 入所介護部門

住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活が送れるよう、本人、ご家族の意向を尊重した支援を行う。

- 重度の要介護者・医療的ニーズのある方への知識、技術の向上を図る。
- 認知症入所者への対応力の向上を図る。
- 身体拘束や虐待行為の防止、事故防止を図り介護サービスの質の向上を図る。
- 穏やかな終末を迎える体制の確保、知識技術の向上を図り、看取り介護を充実する。
- 各入所者の情報収集及びケアプランによるPDCAサイクルの充実。
- 感染症の発生及び施設内クラスター発生の防止。感染症対策の定期訓練の実施。
- 介護の効率化を図る為、ICTの活用等業務内容の見直しを行う。
- 職員の資格取得、研修参加への支援及び施設内研修の企画、実施。
- 外国人技能実習生の受入れ、支援を行い、施設に早く慣れてもらう。

2 短期入所部門

サービスの質の向上を図り、長期入所者を含め稼働率の安定を目指す。

- 担当ケアマネージャーが作成したケアプランを把握し、適切なサービスを提供する。
- 個々のニーズに応じたケアの実践、介護用品の提供により、安全で快適な環境作りに努め、未然に事故を防ぐ対策の実施。専門的な福祉の知識、技術習得に努め、介護技術の向上を目指す。
- ご家族やケアマネージャーに、利用時のご様子をきめ細やかに報告し、安心して利用していただく。
- 問題発生時においては、早急に話し合いの場を持ち、誠意を持って速やかに対応し、改善対策の実施と再発防止に努める。
- 居室の利用方法等について、コロナ感染症の予防を念頭に検討を行う。
- 新規利用者の積極的な受け入れと、特別養護老人ホーム等の入所待機者の入所前利用についても提案を行う。
- 関連施設等との空床情報の共有を行い積極的な受け入れを行う。

3 通所介護部門

認知症対応型通所介護及び西原村通所型サービスの利用者増を図り、デイサービスの年度内再開を目指す。

- 認知症対応型通所及び西原村通所型サービスの提供するサービス内容や実施状況についての告知を関係各機関や利用対象者に行う。
- デイサービス利用希望者の状況やニーズの把握を行い、必要なサービス提供が出来る環境を整える。

4 訪問介護部門

住み慣れた地域で在宅生活を送る事が出来るよう、関係機関と連携を図り専門職として利用者やご家族のニーズや思いに沿ったサービス提供を行う。

- 自立支援、重度化防止を図る為、計画書のモニタリング、細かい評価、報告を行い多職種との連携を強化する。
- 専門職として様々なニーズに合ったサービス提供ができるよう、施設内外の研修に参加しケアの質の向上と改善を図る。
- 利用者へ安心してサービス提供ができるように感染防止対策を徹底する。

5 居宅介護支援部門

地域の高齢者と行政、医療、福祉、その他関係機関と連携し、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続していくことができるよう支援を行う。

- 西原村地域の各事業所や行政・地域包括支援センターと現状把握、分析し必要な社会資源となるような協力体制を確立する。
- 慢性疾患を抱える地域の高齢者のため、地域の主治医や医療関連施設との連携や協力体制を確立する。
- 自治会や民生委員との連携や地域支援体制を訪問活動で強化し、住み慣れた地域で生活を続けられる支援体制を法人全体で整備できるよう連携する。
- 生活支援整備体制事業協議体に参加し、西原村の現状や課題を見据えて資源開発等に協力する。
- ICT を活用してサービスの質を保ち、法人内や法人外でもケア検討会や研修会等で技術提携や連携を強化する。
- 研修参加や自己研鑽により、専門職の知識技術の向上に努める。
- 地域の保健、医療、福祉の諸サービスを統合した情報を発信する。

6 栄養部門

利用者の栄養状況を把握することで個別に対応し、改善できる食事を委託業者と協力し提供するとともに、食事を楽しみとして満足できるものを協力して提供する。

また、非常時でも問題なく食事の提供ができるよう備蓄の管理を行う。

- 栄養評価を行うことで、低栄養状態の方を早期に発見し、多職種で対応して改善する。
- ミールラウンドにて多職種で摂食嚥下の確認を行い、利用者に応じた食事形態で機能低下を防げるように対応していく。
- 四季を感じられる季節の食材を使用し、利用者の意向に沿った食事で楽しみや満足感を味わってもらう。
- 災害時の備蓄の確認と管理を定期的に行う。

7 事務管理部門

施設の健全な経営と運営を行うため、各種情報の収集や事務処理の効率化、各事業所における収支の調査、改善を行うとともに、老朽化等に伴う修繕費の増加に対応するため、計画的な改修や更新について検討を行う。

- 介護職員の慢性的な人材不足を補うため、毎年2名程度の海外技能実習生の受入れ、人材確保を行うとともに、介護職員の意識向上と教えることによる技能向上を図ります。
- 建設後20年以上経過し、設備の老朽化等に伴う修理に際し、部品供給の終了や修理費用が高額となる事が多くなっている現状から、改修や更新について検討を行う。
- 他施設と連携や研修会等へ積極的に参加し、必要な情報の収集を行い、適切な施設の運営に活用する。
- 法令で定められた法人の事業状況や介護保険情報、その他必要な法人・施設の情報等を、適当な時期にホームページや広報誌を利用し提供する。
- 地域における非常災害時、村内要介護者等の受入れを行うための関係機関との連携を強化する。

8 グループホーム

認知症高齢者が、残された能力を最大限活かし、自分らしい生活が続けられるよう、利用者本人、ご家族の意向を尊重したサービス提供体制を整える。

- 利用者の意向と希望に沿った生活が送れるよう、利用者の力、能力を把握し、その方にあった援助計画を作成する。
- 利用者の希望に沿ったレクリエーションや外出企画等の提案と実施。
- 利用者が日常生活を健康で安全に生き生きと過ごせるよう、関連医療機関と連携し、体調の変化等につきみやかに対応できるような体制の確立。
- 地域に開かれた事業の運営を行うため、運営推進会議の実施と、地域行事へ積極的に参加する。

9 行 事 計 画

(1) 施設部門年間行事計画

| 月 | 季節行事 | | 地域行事 | 施設内外行事 | 家族関係 | 管理・防災関係 |
|-------------------|--------|--------------|--------------------|-------------------------|-----------------|---------------------------|
| 4月 | 昭和の日 | 29日 | 花見 | 花見会 | みどりだより | |
| 5月 | 憲法記念日 | 3日 | つつじ見学 | つつじ見学 健康診断 | 衣替え連絡 | 受水槽清掃 |
| | みどりの日 | 4日 | | | | |
| | こどもの日 | 5日 | | | | |
| | 母の日 | 10日 | | | | |
| 6月 | 衣替え | | | 朝顔植え | | 消防訓練(夜間) ボイラー点検 |
| | 父の日 | 21日 | | | | |
| | 夏至 | | | | | |
| 7月 | 海の日 | 23日 | | そうめん流し | 帰省案内 | |
| | スポーツの日 | 24日 | | | みどりだより | |
| 8月 | お盆 | | | | 敬老会案内 | 浴槽ろ過 システム消毒 |
| | 山の日 | 10日 | | | | |
| | 終戦記念日 | 15日 | | | | |
| 9月 | 敬老の日 | 21日 | | 敬老秋祭り | | |
| | 秋分の日 | 22日 | | | | |
| 10月 | 衣替え | | | 運動会 コスモス見学 | みどりだより 衣替え連絡 | |
| | 十五夜 | 1日 | | | | |
| 11月 | 文化の日 | 3日 | 西原村 文化祭 | インフルエンザ 予防接種 紅葉見学 | 家族会 親睦会 | 消防総合訓練 浴槽水点検 ボイラー点検 |
| | 七五三 | 15日 | | | | |
| | 勤労感謝の日 | 23日 | | | | |
| 12月 | クリスマス | 25日 | | もちつき | 帰省案内 | |
| | 大晦日 | 31日 | | | | |
| 1月 | 元旦 | 1日 | どんどや (布田) 初詣 | 初詣 どんどや見学 新年会 | みどりだより | |
| | 成人の日 | 11日 | | | | |
| | 鏡開き | | | | | |
| 2月 | 節分 | | のぎく祭り | 豆まき | | |
| | 建国記念日 | 11日 | | 植木市見学 | | |
| | 天皇誕生日 | 23日 | | | | |
| 3月 | 桃の節句 | | 木山初市 | ひな祭り 花見会 | 家族会総会 | |
| | 春分の日 | 20日 | | | | |
| 月例行事 | | | | 会議・研修等 | | |
| 誕生日会(随時) | | 散髪(第2月曜・随時) | | 職員会議(毎月) | | 受水槽点検(月1回) |
| 民謡サークル (2ヶ月1回) | | 歯科往診(毎週) | | 経営推進会議(毎月) | | 全館消毒 |
| | | 内科往診(月4回) | | 委員会会議(毎月) | | 運営推進会議(年6回) |
| | | 精神科診療(月1回/月) | | 栄養委員会(毎月) | | |
| | | | | サービス担当者会議(毎週) | | |

(2) グループホーム部門年間行事計画

| 月 | 行事 | 装飾 | レクリエーション | 外出 | 衛生・美化 |
|-----|----------------------------------|--------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 4月 | 家族会、花見 運営推進会議① | 鯉のぼり かぶと | ドライブ | つつじ見学 | 衣類の調整 |
| 5月 | 母の日 健康診断 | 菖蒲 | 外気浴 外庭で昼食会 | | 菖蒲湯 ワックス掛け① バルサン消毒 |
| 6月 | 消防訓練 運営推進会議② | あじさい | 七夕飾り作り 梅干作り バーベキュー | | ハエ取り紙設置 衣替え 虫歯予防 ムカデ駆除 |
| 7月 | 七夕祭り | 七夕飾り | 土用うなぎ | | 夏バテ防止対策 |
| 8月 | お盆 運営推進会議③ | 盆提灯 | ワークキャンプ | 墓参り 夏祭り | |
| 9月 | 秋祭り | 月見団子 すすき | お月見団子作り | 老人会運動 会参加 | |
| 10月 | ドライブ 運営推進会議④ | 菊 | | コスモス見学 運動会参加 | 衣類の調整 衣替え |
| 11月 | 西原村文化祭 消防訓練 | クリスマスツリー | 文化祭出展物 展示 | 紅葉狩り 文化祭見学 | インフルエンザ予防接種 ワックス掛け② |
| 12月 | 忘年会 運営推進会議⑤ | 鏡餅 | | イルミネーション 見学 | 冬至(ゆず湯) 大掃除 芝消毒(ムカデ) |
| 1月 | お正月 新年会 | 正月 | 七草粥 鏡開き 新年会 | 初詣 ドント焼き | うがい、手洗いの強化 |
| 2月 | 節分 運営推進会議⑥ | ひな壇飾り | まめまき お面作り | 植木市見学 | |
| 3月 | ひな祭り | 桜 チューリップ | ぼた餅作り | 桜見物 | |
| 備考 | 定期診察 (月1回) 誕生日のお祝い (随時) | 毎日の日にち 掲示 | サークル活動への 参加 小学校の交流 | 近所のドライブ 買い物適宜 個人別外出 | 備品メンテナンス (毎月) |

III 会議・委員会一覧

| 委員会名 | 委員会構成 | 開催要項 |
|-------------------|---|--------------------|
| 理事会 | 理事長・理事・監事 | 年3回 (5月,12月,3月) |
| 評議員会 | 評議員・監事 | 年3回 (5月,12月,3月) |
| 職員全体会議 | 全職員 | 毎月1回 (1日) |
| 経営推進会議 | 施設長・副施設長・部長・副部長・係長・主任 | 月1回 (第2月曜日) |
| 苦情処理第三者評価委員会 | 施設長・副施設長・部長・副部長・家族会会長 | 随時 |
| 入所判定会義 | 施設長・副施設長・部長・副部長 生活相談員・介護主任・看護主任 施設ケアマネ・家族会会長 | 月1回以上 随時 |
| 安全衛生・感染防止委員会 | 施設長・副施設長・部長・副部長・係長・看護主任、 看護師・管理栄養士・グループホーム主任 | 月1回 (第2月曜日) |
| 事故防止委員会 | 施設長・副施設長・部長・副部長・係長・看護主任、 看護師・管理栄養士・グループホーム主任 | 月1回 (第2月曜日) |
| 栄養委員会(Ⅰ) | 施設長・副施設長・部長・副部長・管理栄養士 介護部主任・生活相談員 | 毎月1回 (第1月曜日) |
| 栄養委員会(Ⅱ) | 施設長・副施設長・部長・副部長・管理栄養士 栄養担当者・栄養管理栄養士 | 毎月1回 (第2火曜日) |
| サービス担当者会議 | 部長・生活相談員・施設ケアマネ 機能訓練担当・介護部担当者・利用者 利用者家族 | 毎週水曜 |
| 地域密着型施設 運営推進会議 | グループホームホーム長、主任、利用者、家族 東館介護主任、ユニットリーダー、利用者、家族 家族会会長、西原村役場、民生委員 老人会長、地区長 | 年6回 (偶数月) |